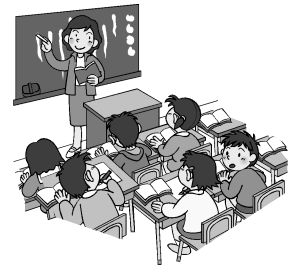


## 特集

# 今、あらためて教育費無償を考える

## 「えっ！」と驚く無償の話題

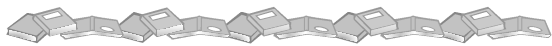


- 憲法制定時に国は、無償は授業料だけでなく、教科書、学用品、学校給食費、できれば交通費までを目指していました
- 公費・私費負担区分のもとになっている文書では、校外学習の交通費や音楽鑑賞の鑑賞料も公費とされています
- 給食費、教材費、修学旅行費などの学校教育費を無償にしている自治体があります

憲法に「義務教育はこれは無償とする」って書いてあるけど、お金がかかっているよね？

金融機関で見かける「教育ローン」のポスターやチラシ。高校進学や大学進学にいくらかかるのかが表記されていますが、本当にそれで足りる？。学校に支払うお金はだけでなく、制服代、教科書、受験料、生活費などあるよね？

そんな思いから、そもそも「無償」とは何かを考えたのが今回の特集です。



## 注文はこちらへ

- <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/>  
（「制度研」で検索できます）
- E-mail [seidoken@ha.bekkoame.ne.jp](mailto:seidoken@ha.bekkoame.ne.jp)
- 〒194-0045  
東京都町田市南成瀬4-13-10  
植松直人 方  
TEL 090-9675-1067 FAX 042-728-1616

## 目次

### <特集:今、あらためて教育費無償を考える>

- 特集にあたって
- 教育無償とは何か？  
～真の教育費無償について考える
- 教育費の無償化は夢ではない
- 今、あらためて教育費無償を考える
- 公教育の無償化を求めた人々 1
- お金がかかりすぎる日本の高等教育
- 高校と大学のダブル進学を抱えて
- 子どもとお金 ～アンケートと通帳を見ながら考える～
- お金のかかる高校への通学 ～山間地の生活から～
- 公費中心の予算運営と保護者負担軽減

- 高校の奨学給付金
- 教育財政シンポに参加して
- 財政シンポに参加して

### 【連載】

- 子どもを守るセーフティネット  
就学援助制度  
～新入学用品費入学前支給が広がり始めて
- 私の事務だより  
小さなコラムが広げた世界
- おすすめの一冊「いま学校に必要なのは人と予算」

2018年3月16日発行  
A5判 64ページ  
500円（送料90円）

編集・発行 全国学校事務職員制度研究会